

岩手県 I 援隊だより

岩手県（釜石）派遣隊だより

（「I 援隊しずおか」より）

県民みんなで 力を合わせ 希望に向かって 一歩ずつ

がんばろう！ 岩手

Vol. 48（平成 28 年 3 月 31 日）

■ 平成 27 年度 第 2 回沿岸広域振興局長表彰を受賞しました

沿岸広域振興局の局長表彰が 3 月 14 日にあり、朝田主査と白鳥主査が受賞しました。朝田主査は、「鵜住居川水門」において、詳細な地質調査結果から水門基礎の最適な工法を選定し、国等との協議に主体的に取り組んだことと、隣接する釜石鵜住居復興スタジアム（仮称）で開催が予定される「ラグビーワールドカップ 2019」に水門の完成を間に合わせるため、受注者と一体となり工程短縮の実現に取り組み、復興事業の推進に貢献したことが評価されました。

白鳥主査は、「大槌川・小釜川水門」において、工事着工後に判明した被圧地下水対策のための補助工法の選定などに積極的に取り組み、無対策では施工が困難だった基礎杭の着手を実現させたことと、岩手県が主催した東日本大震災津波 5 年目シンポジウムにおいて、復興に向けた自治体間連携の重要性や応援派遣職員の必要性などを広く一般にも発表したことが評価されました。



表彰者一同



記念品を受け取る朝田主査



表彰される白鳥主査

■ 平成 27 年度 応援派遣職員感謝状贈呈式が開催されました

平成 27 年度静岡県派遣職員の内、本年度をもって静岡県に帰任することとなった、吉川主査、朝田主査、白鳥主査が岩手県沿岸広域振興局長から感謝状を贈呈されました。

この感謝状は、東日本大震災の津波により甚大な被害を被った施設の復旧など、災害業務に対する支援を 1 年間精力的に行い、沿岸地域の早期復旧・復興に向け多大な貢献をしたことが評価されたものです。



局長と派遣職員一同



感謝状を受け取る吉川主査

■ 赴任して早一年

平成 27 年度に私達が赴任して一年が経ち、今思い起こせば、赴任した当時は、無事に一年間を乗り切れるか不安もありましたが、静岡チーム一丸となって様々な問題を解決しながら乗り切ることが出来ました。

それぞれが担当する現場では、小白浜水門、鵜住居川水門はコンクリート打設が始まり、少しずつ形が見えてきています。甲子川水門、大槌川・小鋸川水門では、波浪による被災や被圧地下水対策にかなりの労力を費やしましたが、順調に動き出しています。片岸海岸防潮堤では、地盤改良工が完了し、堤体盛土に取り掛かる準備が着々と進んでいます。

4 月からは、3 人のメンバーが入れ替わり、新たな体制での業務となりますが、一日も早い復興を目指して業務を邁進していきたいと思います。

平成 27 年度 岩手県派遣メンバー

岩手県 沿岸広域振興局 土木部

河川港湾課 復興第一チーム：鈴木広和

復興まちづくり課 復興第三チーム：吉川孝洋、鈴木健支、朝田敏裕、白鳥雅紀、岩井博靖

(本号編集者 岩井)